

さくらの輪



桜原小学校区 コミュニティ広報誌

桜原小学校餅つき&フェスタ 12月2日(土)

今回の餅つき&フェスタは、コロナの影響で、3年ぶりの開催となりました。この同時開催は初の試みで、不安もありましたが、学校・自治会・PTA・コミュニティ・地域の皆様のご協力により、無事に開催することができました。子どもたちにとっていい思い出になったことと思います。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

(実行委員長 上森勝美 林崎自治会長)



餅つき大会 午前



6年生と1年生で餅つき



フェスタ 12月2日(土) 午後

子どもたちのために「お祭り」も開催しました



わたあめとポップコーン



体育館でコンサート



わたあめ



型ぬき



輪投げに挑戦



バルーンアート



マスコット



竹馬



フラフープ

防災会議 12月13日(水)

うみみらい館の多目的ホールで防災会議がありました。

一般社団法人地域安全協会代表理事の山本一氏は阪神・淡路大震災の避難所生活をきっかけに、防災士など様々な資格を有し講演活動などを行っています。

令和6年1月1日 能登半島で最大震度7の地震が発生し、懸命の救助活動が行われていますが、道路が寸断するなどして孤立した地域が多く見受けられました。

山本氏の講演を聞き、次のようなことを改めて考えさせられました。近年発生するであろう南海トラフ巨大地震は、太平洋側の災害だけでなく福岡県も被害をこうむるだろうと推測されています。災害から命を守るためにはどのような避難準備が必要なのでしょう。それは避難先や避難経路など安全を確保できる場所(ハザードマップの活用)

の把握、正確な情報入手、避難するタイミングと災害時における助け合いなどです。災害発生時は「自助」(自分の命は自分で守ること)、「共助」(お互いに助け合うこと)が大事です。「公助」(行政機関による救助)は、大規模災害であるほど限界があります。地域防災組織の役割は、支援の必要な人へ手を差し伸べ、誰一人取り残さないことです。そのためには、日頃から近所の人と顔見知りになり、災害発生時の組織作りと避難行動を考えておくことが大切です。



各自治会の餅つき&クリスマス会

12月になり各自治会で餅つきやクリスマス会が行われました。朝早くからお湯を沸かして餅つきの準備をし、昔ながらの杵と臼を使い、協力して20kg~50kgの餅をつきました。子どもから大人まで参加して、ついた餅はその場で、あんこ餅やきな粉餅、大根おろしにして美味しく頂き、交流を深めることができました。

また、同時にクリスマス会を開いたところもあり、子どもたちは楽しいひと時を過ごすことができました。

月 日 (曜日)	自治会名 行事	自治会名 行事	自治会名 行事
12月3日 (日)	三原自治会 餅つき	柳原自治会 餅つき	
12月10日 (日)	浦田自治会 餅つき&クリスマス会	大名坂自治会 餅つき	
12月17日 (日)	桜原自治会 餅つき&クリスマス会	林崎自治会 餅つき	神山手自治会 クリスマス会
12月23日 (日)	林崎自治会 クリスマス会		



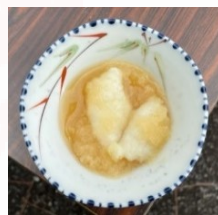
三原自治会



ぶた汁



柳原自治会



大根おろし餅



餅米のおにぎり



浦田自治会



ひとり住まいのお年寄りの方にも毎年配ります



大名坂自治会



大名坂盛り上げ隊



ぜんざい、豚汁、ウインナー、たこ焼きなど



桜原自治会



桜組



林崎自治会



クリスマスのイルミネーション 12月24日(日)

各自治会によるクリスマスのイルミネーションは、地域の人々に安らぎを光で楽しませています。



三原自治会のイルミネーション(県道60号線沿い)



桜原自治会のイルミネーション(公民館前)

クリスマス会 12月

桜原育成会(17日)



神山手育成会(17日)



林崎子供会(23日)



早見観音様の 大しめ縄作り 12月3日(日)

早見観音様世話人会(現在20数名)により、毎年疫神社並びに早見十一面観音様のしめ縄を新調し、奉納しています。小さな藁の束を編み込んで、大きなしめ縄にしていくため、昔ながらの手作業で人手と時間を要します。



大しめ縄の準備
(藁の束作り)



クレーン車を利用



しめ縄にメの子と竹を取付



観音様の社にしめ縄



取付けたしめ縄

早見疫神社の御神祭 12月18日(月)

毎年12月18日には、明治29年に建立された鳥居の前で、宇美八幡宮の宮司さんに出向いただき、神事を執り行っています。特に、今回は夏に新調したばかりの法被を全員が着用した神事となりました。(早見観音様組合 伊藤辰雄会長)



御堂にて一年の慰労



疫神社に心を込めて

横串(よこぐし)部会 11月29日(水)

横串部会とは『校区コミュニティ間情報交換会』の事で、今回は防災関係部会、地域ふれあい・青少年育成関係部会等から約20名が参加して行われました。

第1部はこれまでの活動内容やその目的についての情報交換を行い、第2部は各校区コミュニティにおいて①共通している課題と②その解決法をテーマにワークショップを行いました。①については、「活動状況や課題を知りえた」との回答が、②については「課題解決のヒントを得られた」などの回答が殆どで、部会後のアンケートでは、次回開催を望む声が多数上がっていました。桜原小コミュから参加した安全安心部の中島部長は、原田小コミュが過去に作成した右上の『原田校区まち歩き防災マップ』を参考に桜原小コミュでも新たに作成すべきだと思ったそうです。



令和5年度 桜原小学校区地域協働企画 2 『地域で守ろう子どもの安全』 継続事業

スマイルバッジ 誕生! ~ながら防犯 見守りバッジ~

通勤・通学・買い物・散歩などをしながら、地域に目を向ける「ながら防犯」。ながら防犯ボランティアには、『スマイルバッジ』が必要です。

「ながら防犯」とは、日常生活の中に防犯の視点を取り入れて周囲への目配り、子どもたちの見守りなどを行う活動です。地域の「異変」「危険」に気づいたら、最寄りの警察署、役所などに伝えましょう。

(緊急の事件・事故の通報は、110番へ)



スマイルバッジ